



学校法人松本学園

松本大学

PRESS RELEASE

〔発信〕松本大学入試広報室

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

TEL0263-48-7201 FAX0263-48-7291

<http://www.matsumoto-u.ac.jp>

平成28年5月24日

報道関係各位

駅西地区 もったいないプロジェクト開始のお知らせ

新緑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、7年目に入る「もったいないプロジェクト」(野菜の引き売り等による買い物支援事業)が駅西地域において本年度も始まります。文部科学省「地(知)の拠点整備地事業」(大学COC事業)の一環として、カフェあげつちに設置した「買い物支援ステーション」の支援の下実施するものです。すでに上土においては3月末より始めておりますが、駅西地域では地域のニーズ調査を4月から5月に行い、それに基づいて開始します。

本年度は、地域の方々を対象として実施したアンケート調査などの結果を踏まえ、地域の人のつながりや学生とのつながりを築く「居場所」としての役割を果たすことができるよう事業を進める予定です。具体的には、渚地区で昨年度から試験的に始めた野菜市による販売方法を巾上地区でも行います。駅前にあるいばらん亭の前と巾上南公民館前において野菜市を実施し、さらに希望する方にはリヤカーによる引き売りを行ないます。また白板地区においては昨年度と同様リヤカーを使用した行商を実施します。

また本年度は野菜の仕入れ先の拡大を図り、特に「高齢者による農業」を支援することを目的に、量が少なかったり出荷が難しかったりして無駄になってしまう野菜を仕入れていく予定です。もったいないプロジェクトの名称にあるように、無駄になる野菜を活用し、農村と都市部の高齢者を結び付けることが目指します。また、駅西地域で野菜市を開催することで、将来的にはアルプスロひろばにおいて、輪島や高山のような観光客も誘致できる「市」を開催するきっかけになればと思います。

5月26日(木)より、白板での引き売りといばらん亭、巾上南公民館、田川公民館において野菜市を開催します。つきましては事業に関して取材をお願い致します。

敬具

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



【参考】2016年度 もったいないプロジェクト企画書

1 目的

- ① 地域の方の居場所を作る
- ② 引き売りを通じて地域の方と会話し地域の課題やニーズを知る（買い物支援体制の構築）
- ③ 仕入れを通じて農家さんとの交流を図る（行商を通じた新たなビジネスモデルの構築）

2 活動内容

毎週1回の野菜などの野菜市やリヤカーでの引き売り、拠点ごとのミニ市場

3 対象

松本駅西口周辺 巾上、白板地区、渚地区 および上土商店街周辺

4 実施日程

① 駅西地区

- 1) 田川公民館における夕方市 毎週木曜日 16:00~18:00
- 2) 巾上における野菜市の開催と希望する方へのリヤカーでの引き売り
いばらん亭前 15:00~17:00 巾上南公民館 15:30~16:00
- 3) 白板での引き売り（いばらん亭から出発） 毎週木曜日 15:30~17:00
- 4) 各地域で「一緒にお持ち帰りサービス」・宅配サービスの実施

② 上土地区

- 1) 上土ふれあいホールにおける生坂元気市 毎月第1・3木曜日 15:00~
- 2) カフェあげつちにおける野菜市 毎月金曜日 10:00~

5 実施体制

白戸ゼミ3・4年及び社会活動・地域課題研究の講義を履修する全学部学生 約40名

6 駅西地区の主な仕入れ先および取扱い品目

清水さん（島立）キュウリ、トマトなど

藤田さん（島立）インゲン、ブロッコリー、ナスなど

北野さん（島立）玉ねぎ、モロッコインゲン、トマト、キュウリ、カボチャ、枝豆など

川久保さん（新村）トマト、インゲン、カボチャなど

三澤さん（三郷）ブルーベリー、さくらんぼ、ブドウ、りんごなど

中田さん（三郷）サヤエンドウ、人参、なす、二十日大根、ズッキーニ、ミニトマト等

務台さん（三郷）フキなど

武田さん（三郷）ヒマワリ、インゲン、キュウリ、ナスなど

7 上土地区の主な仕入れ先および取扱い品目

百瀬さん（中山）小松菜など無農薬葉物野菜

のうまん農園・鹿内さん・鈴木さん 無農薬野菜各種

みすずやさん 和菓子上州屋 こんにゃく各種 周辺のスーパーマーケット 缶詰など

入山辺および奈川地区の農家の方々（松本市地域づくりインターンによる連携事業）

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室 TEL 0263-48-7200(代表)